

神戸リサーチコンプレックス協議会 入会案内



健康“生き活き”羅針盤 リサーチコンプレックス

The “Compass to Healthy Life” Research Complex program

神戸リサーチコンプレックス協議会は、「個別健康の最大化」を目指した「健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックス」を継承する組織として設立されます。協議会では、神戸医療産業都市という医療産業創出基盤を活かし、「ヘルスケア分野のエコシステムを神戸に創る」ことを目的に、ヘルスケア産業が創出される土壌を醸成し、その成果を広く社会に還元します。

健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックスとは？

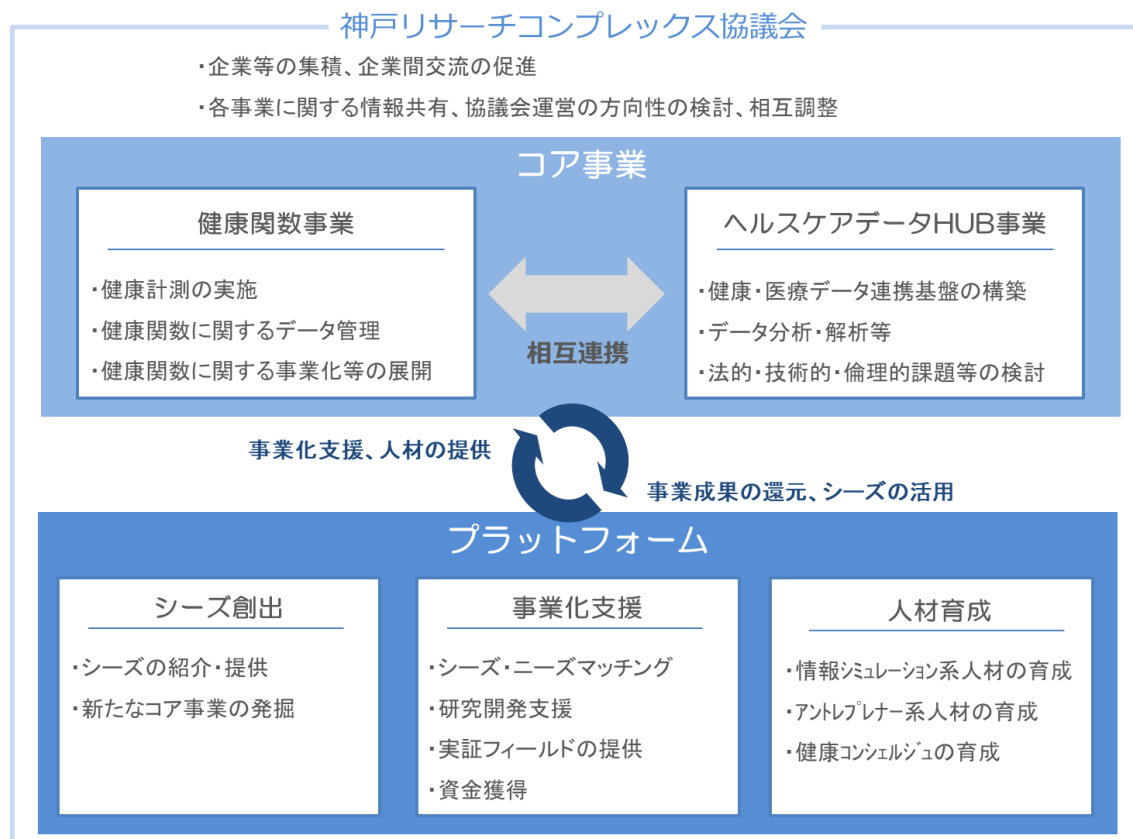
「健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックス」は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が平成 27 年度から実施している「世界に誇る地域発研究開発・実証拠点（リサーチコンプレックス）推進プログラム」において、平成 27 年 11 月 26 日に採択された事業です。

特に神戸リサコンにおいては、健康寿命の延伸には健康から未病へ、未病から発症へという流れを断つことが重要であると考えてきました。そのためにまずヒトの健康について総合的に理解し、個人個人の健康度合いを客観的・主観的指標を交えて正確に数値化・判定し(Precision Health)、健康度を高めるソリューション(羅針盤)を個別に提供することを目指しました。そしてこのような健康科学を軸とし、多様なプレイヤーを「神戸医療産業都市」を中心とする関西エリアに集積させ、健康寿命の延伸のためのイノベーションが起きるプラットフォームを構築し、健康科学を基盤とする事業を次々と産み出す拠点を形成すること、つまり「ヘルスケア・エコシステムを神戸に創る」ことをビジョンとして掲げてきました。



神戸リサーチコンプレックス協議会の取組み

神戸リサーチコンプレックス協議会では、「健康関数」「ヘルスケアデータ Hub」事業をコア事業に据えてヘルスケア産業を振興し、またコア事業を下支えする「事業化支援」「シーズ創出」「人材育成」といったプラットフォームを発展させるなど、ヘルスケアのエコシステムの創出へ向けた取組みを行っています。



① 健康関数事業

「健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックス」の研究成果である「健康関数[®]」を用いた総合的健康度を表す 2 次元マップの上で、個人の位置取りを表すことに成功しました（総合的健康度のポジショニングマップ）。また、このポジショニングマップ上での変化を見ることにより、多数のヘルスケア製品やサービスの科学的で精確な評価が可能になることも明らかにしました。このポジショニングマップを、計測項目を減らしてコストと計測時間を切り詰めた実用的なものに改善したので、スマホアプリなどに搭載し、日々の健康度の個人プロットサービス、それを用いたヘルスケア製品の個人への適合性を調べるツールを開発します。そのために、必要項目の健康計測フランチャイズ施設を関西、首都圏をはじめ全国に事業展開していき、また、一方では、個人の家庭でも計測できる手段を増やすための事業展開を行います。これらの経過データを蓄積することにより、健康回復・健康増進のための多数のソリューションの効果を示し、また、そのビッグデータを利用し、個人個人の将来の健康予測を行い、最適なソリューションの組み合わせを提言・供給します。この事業展開をグローバルに進め、「健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックス」が目

指した「個別健康の最大化」に向けたユニコーン産業創出とそれを支える基礎的・応用的研究や精確な計測・臨床研究を進めてシーズを絶え間なく創出し、また、そのための人材育成も人材育成事業とともに行います。

また、神戸市民 PHR とも融合し、健診データのみならず、大きなデータベース作りを目指します。

② ヘルスケアデータ Hub（神戸市民 PHR）事業

個人の健康・医療データは出生から高齢期にいたる様々な場面で計測記録されています。これらのライフコースデータを集積・解析することにより、未病段階から健康維持・増進・管理に向けた取り組みへの活用や、より正確に疾病等の健康リスクを予測し、早期に介入するといった予防医療（先制医療）、個人個人それぞれに合った確かな健康支援が可能になると考えられています。

「健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックス」では、理化学研究所と神戸市が共同で神戸市民 PHR の開発を進め、平成 31 年度 4 月 1 日より MY CONDITION KOBE（アプリ）の運用を開始しました。MY CONDITION KOBE では、自身の歩数や食事等の「からだ」や「くらし」の情報と、市が保有する健診結果をまとめて管理することができ、個人ごとの統合データを基に、スマートフォンで「くらし」や健康に関するアドバイスを受けることができるものです。

今後、自治体が所有する健康データだけでなく病院や診療所・調剤薬局等が保有する医療データも含めた幅広いライフコースデータを集積することにより様々な利活用が考えられることから、これらのデータ連携基盤を構築する必要があると考えられます。しかし、こうしたデータの一体的な利活用の実現には、個人情報取り扱いに関する法的適合性やデータ連携基盤のシステムの開発・安全性の確保など、様々な課題に直面することが予想されます。そのため協議会では、自治体、産業界、アカデミア、医療機関等の様々なプレーヤーが連携して課題解決に向けた検討を進め、プロジェクト化していくことを目指しています。

③ 事業化支援

自立的なエコシステムを実現するためには、継続的に新たなシーズが創出され、それが事業へと繋がり、新たな産業へと発展していくことが欠かせません。しかし、シーズが事業へと成長するまでには、様々な課題に直面します。協議会では、そうした課題を乗り越えるため、生み出されたシーズを事業へと繋げる事業化支援の仕組みを構築しています。

協議会の活動の中心である神戸医療産業都市では、研究開発シーズの実用化・事業化を加速するため、神戸医療産業都市推進機構により、幅広い相談に一元的に対応するワンストップサービスを提供する「KBIC リエゾンオフィス」をはじめ、シーズ探索からマッチング、販路開拓まで、一貫した支援体制を提供しています。また、ヘルスケア分野では、「ヘルスケア開発市民サポーター制度」を設け、アンケートやモニター調査など産学民協働による製品・サービスの開発支援を進めています。

さらに、協議会では、会員の持つ様々なシーズやニーズを融合・発展させるため、協議会の会員の交流を促すビジネスマッチングやベンチャーピッチ等のイベントを実施し、産学官医の連携、異分野融合による研究開発を進めます。

ハード面においては、研究機器を共同利用できる共用機器室をクリエイティブラボ神戸（CLIK：令和2年10月開設予定）に整備予定です。高額機器等を共同で利用することで、初期投資を抑えた研究開発をサポートできる環境を整備します。

④ シーズ創出

協議会の活動の中心である神戸医療産業都市には、理化学研究所をはじめとした世界最高水準の研究機関や大学等が集積し、新たな医療技術の実用化や革新的な製品の創出を目指した研究開発が推進されています。

例えば、理化学研究所においては、生命機能科学研究センター（BDR）が、個体の発生・成熟・老化に関わる分子・細胞・臓器システムを解明し、健康・疾患状況の理解や再生医療への応用や健康寿命の延伸に取り組んでいるほか、計算科学研究センター（R-CCS）では、計算科学分野の中核拠点として、スーパーコンピュータ「富岳」が整備予定であり、国際競争力のある汎用的なシステムの実現を目指しています。

神戸医療産業都市推進機構においては、研究部門として先端医療研究センターが免疫・老化・再生医療の3領域を中心に健康長寿社会実現の基盤となる研究を推進し、診断法や治療法の開発を目指しています。また、細胞療法研究開発センターでは、細胞製品の前臨床試験、治験薬製造、商用製造を通じた細胞治療の実用化を目指しているほか、医療イノベーション推進センターでは、基礎研究を臨床研究の場に繋げる橋渡し研究を推進するための情報拠点として、情報の発信や臨床試験や大規模コホートの管理・運営、トランスレーショナルリサーチの推進を行っています。

これらアカデミアの研究成果と研究活動を産業界に紹介・提供し、産・学連携に結び付けることで、研究開発や事業化を推進します。

⑤ 人材育成

ライフサイエンス分野のビジネス創出の原動力となる人材の育成を目指して、神戸大学、兵庫県立大学、（一社）次世代健康社会ヘルスケア推進協会、(株)COPELコンサルティングが連携し、さまざまな活動を展開しています。

(1) 「アントレプレナー人材育成」

起業家または、自社内で新しいビジネスを創出する人材の育成を目指すカリキュラムです。

(2) 「シミュレーション系人材育成」

情報、シミュレーション、IoTなどの専門的人材を育成するためのカリキュラムです。

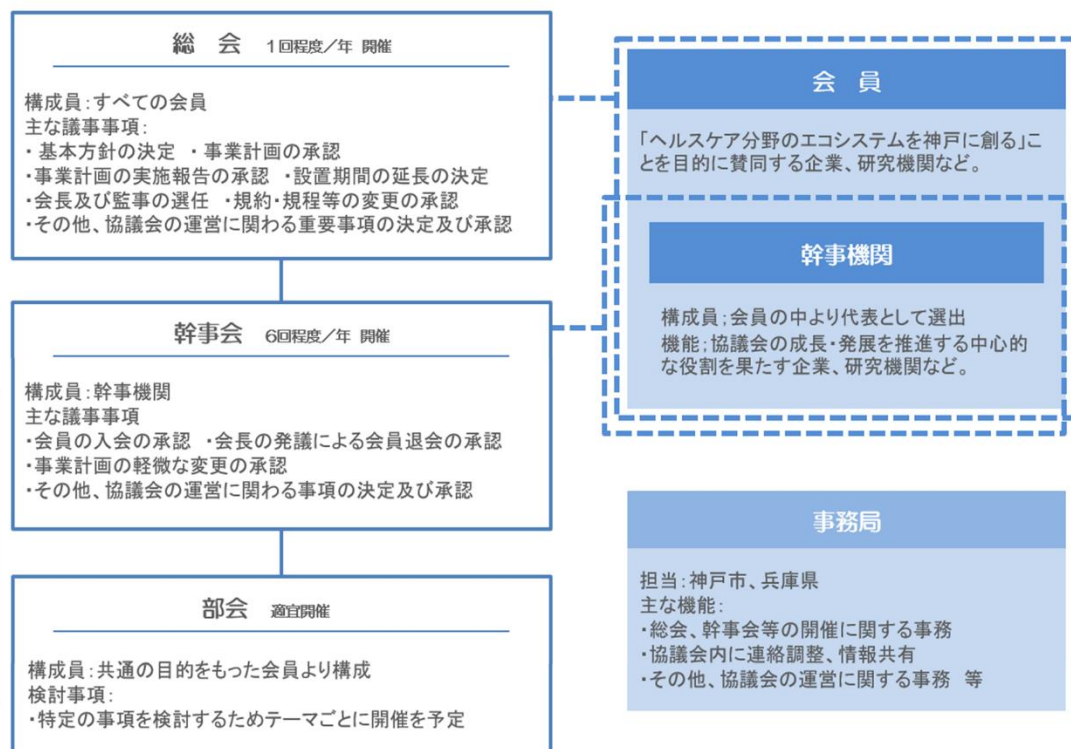
(3) 「健康科学先導専門人材育成」

e-ラーニングを軸に展開している健康維持・増進への羅針盤が的確に示し導けるために健康科学の専門的な知識の取得、向上を目指すカリキュラムと、セミナー形式でヘルスケアの事業開発や新規参入を行う企業等に対して、その分野の知識をもち、先導的な役割を担う専門人材を育成するカリキュラムです。

参加者の皆さんが、分野を超えて交流し、お互いを高め合うきっかけになればと考えています。

講座受講者には、今後活躍できるフィールドを提供するために「人材登録システム（人材バンク）」を構築しています。また、人材バンクを活用し、各企業様の様々な課題解決に対応する研修などの人材開発支援も行っています。

神戸リサーチコンプレックス協議会の組織体制



入会のメリット

①健康関数事業との密接な連携

健康関数事業の動向に関する最新の情報を得ることができ、個別の共同研究や事業連携の実現に向けた相談や技術的なアドバイスを受けることができます。また、健康関数事業で取得した健康計測データの利活用に向けた検討を進めることができます。

②ヘルスケアデータ Hub（神戸市民 PHR）事業との密接な連携

ヘルスケアデータ HUB 事業や関連する市場動向に関する最新の情報を得ることができます。また、将来的にはヘルスケアデータ HUB 事業により集積されたデータの利活用に向けて、自治体、産業界、大学・研究機関、医療機関等の様々なプレーヤーで連携して検討を進めることができます。

③コーディネーターによる事業化支援

会員の様々なシーズやニーズを活かした企業のマッチングや研究開発に関わる相談等コーディネーターによる事業化支援を活用できます。

④最先端の研究設備や交流スペースへのアクセス

整備予定の最先端の研究設備を紹介し、効率的な研究開発のための支援（コーディネート）を活用できます。また、会員の交流を促すスペースが利用できます。

⑤イベント・セミナー・部会等への参加

ヘルスケア分野の理解を深める各種セミナー、協議会の会員等の交流を促すビジネスマッチングやベンチャーピッチ等イベントへ参加できます。また、共通の目的を持った会員で構成される部会への参画により、産官学の連携による課題解決を図ることができます。（例：健康・医療データ部会）

⑥人材育成講座への優先的な参加

協議会にて実施する情報シミュレーション系、アントレプレナー系、健康コンシェルジュ等の人材育成講座に関する優先的な情報提供を行います。また、会員価格で参加できる講座もあります。

⑦地域版次世代ヘルスケア産業協議会への参画

神戸リサーチコンプレックス協議会は、経済産業省が指定する地域版次世代ヘルスケア産業協議会に登録予定です。地域版次世代ヘルスケア産業協議会との連携が必要な各種公募事業への申請ができます。

⑧その他

メーリングリストや会員限定 Web ページにて協議会に関する情報の発信を行います。また、協議会での活動に関する各種相談に応じます。

会費について

会員種別	会費（年間）
企業等	1口（12万円／年）以上 ※1
公益団体等 ※2	無料
※1 新規入会の場合、初年度の会費は入会月を含む3月末までの年会費月割額となります。	
※2 公益団体等とは、地方自治体、国公立大学等の学校法人、国立研究機関等の公的研究機関、および公益法人等の公益性格を有する法人等で神戸リサーチコンプレックス協議会が認めるものとします。	

協議会設立と入会手続きの流れについて

神戸リサーチコンプレックス協議会は令和2年4月1日に設立予定であり、現在、プレントリーの受付を行っております。プレントリーを行って頂いた機関には、設立総会のご案内をお送りします。入会にあたっては、神戸リサーチコンプレックス協議会事務局までご相談ください。

※仮入会の時点では、会費は発生しません。

【協議会設立と入会手続きの流れイメージ】

- ・令和元年12月17日 プレントリーの受付開始



✓入会申請書 兼 誓約書をE-Mailにて提出（押印不要）
提出先：神戸市医療・新産業本部医療産業都市部推進課（事務局）
E-Mail: kobecity-rc@office.city.kobe.lg.jp
※申請内容を事務局で確認し、必要に応じてヒアリング等を実施

- ・令和2年3月18日 プレントリー締切
- ・令和2年3月25日 神戸リサーチコンプレックス協議会設立総会開催（予定）
日時：令和2年3月25日（水）
場所：神戸市内（調整中）

- ・令和2年4月1日 神戸リサーチコンプレックス協議会設立



✓入会申請書 兼 誓約書を郵送にて提出（押印）
提出先：神戸市医療・新産業本部医療産業都市部推進課（事務局）
住所：〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号
✓事務局から送付される会費納入依頼書に従って会費を納入

関係書類など

【入会及び退会に関する資料】

・入会申請書 兼 誓約書

協議会への入会を申請する際に記入・提出頂くものです。

・退会届

協議会への退会を申請する際に記入・提出頂くものです。

・会員規約

協議会への入退会に必要な手続きや会員の責務等を定めたものです。

【協議会の運営に関する資料】

・基本方針

協議会を運営するにあたっての基本的な方向性を定めたものです。

・協議会規約

協議会を運営・開催するにあたって必要な事項を定めたものです。

・幹事会規約

幹事会を運営・開催するにあたって必要な事項を定めたものです。

※入会及び退会に関する資料、協議会の運営に関する資料については、暫定版であり、今後開催予定の設立総会における審議の結果により、変更の可能性があります。

神戸リサーチコンプレックス協議会に関する資料は
こちらからダウンロードできます → <https://rc.riken.jp/>

【お問い合わせ】

神戸リサーチコンプレックス協議会事務局

神戸市医療・新産業本部医療産業都市部推進課

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1

E-Mail: kobecity-rc@office.city.kobe.lg.jp